

# waku-ta

～神奈川県横浜市～



雑木林に囲まれた緑豊かなカフェ・テラス 愛犬同伴もOK！

**横** 浜の、緑に囲まれたカフェエギヤラリー・waku-ta（ワクータ）。「和で暮らし楽しむ」というコンセプトが店名の由来で、「日本の和の文化を楽しんでほしい、そして和やかな空間で人の和・輪が広がっていくように」とのオーナーの願いが込められている。

「日本は『衣食』にはこだわる方が多いけれど、『住』の部分がまだまだ貧しいんじゃないかと思うんです。最近では、廃棄するときに燃やすことも出来ず埋めるしかないビニールクロスや人工大理石のような素材が住宅にどんどん使われていますよね。でも、自然に還せる素材を使った、もっと気持ちのいい快適な住まいづくりが、お金をかけなくても楽しめる。そのことを知ってほしくて、このショップをつくりました」と語ってくれたのはオーナーの田中和子さん。100%珪藻土を塗った壁や、無垢の木材を使った床暖房など、リフォームも手



カフェ・テラス 白いタイル張りのガーデンシンク



店内 手洗いカウンターのタイル





タイルのある店内



上・テラスの大理石タイルテーブル/下・店内のタイルテーブル

掛けるシヨップは自然素材を使った住居のモデルルームの役割も果たす。シヨップでは、カフェとしてお茶やランチができるほか、様々なワークシヨップや作品展が開催され、自然素材の住居の心地よさを体感しながら「暮らし」を楽しめる多様な時間が提供されている。

そんな店内で、あちこちに使われているタイル——。これらは全て、タイル好きで田中さんがご自分で張りつけたもの。シヨップでは、ミラーフレームやテーブルトップなどを制作するタイルクラフト教室も開催している。

「昔、シヨールームでトレイにタイルを張るお客様向けのイベントのお手伝いをしたことがあったのです。それがきっかけでタイルって面白いと思って、大体の要領がわかったのでは自己流でどんどんタイルを使うようになって」という田中さん。教室に来る方達も、「暮らしの中にタイルを取り入れたいけれど、どうすればいいのかわからないので、まずは基本を習いたい」という方が多いそうで、教室で何か一つ作ってみるからタイルのある生活をスタートさせているようだ。

日本の住文化の充実を願って活動している田中さん。タイルの魅力について「タイルは土から出来ているから、土に還すことができる。そこが一番気に入っているところ。あとは、色や種類も豊富だし、素材として温かみのあるところも好きですね」と話してくれた。住まいと暮らしを大切に楽しむライフスタイルに、タイルが彩りを添えている。

「昔、シヨールームでトレイにタイルを張るお客様向けのイベントのお手伝いをしたことがあったのです。それがきっかけでタイルって面白いと思って、大体の要領がわかったのでは自己流でどんどんタイルを使うようになって」という田中さん。教室に来る方達も、「暮らしの中にタイルを取り入れたいけれど、どうすればいいのかわからないので、まずは基本を習いたい」という方が多いそうで、教室で何か一つ作ってみるからタイルのある生活をスタートさせているようだ。



● waku-ta (ワクータ)  
 神奈川県横浜市港南区芹が谷 5-51-22 TEL 045-821-6393  
 11時30分～17時(火・水・金・土曜日営業)  
<http://waku-ta.com/>

**タイルクラフト教室** (不定期開催)  
 全2回(1回約3時間)で完成予定の「タイルのミラーフレーム作り」(2回分¥7,000【材料費・お茶・ケーキ込み】※使用タイルで追加有)のほか、応相談。



タイルクラフト教室のようす。教えているのがオーナー・田中さん。

# 「アロマタイル」をつくろう!!

～ waku-ta でのワークショップから～



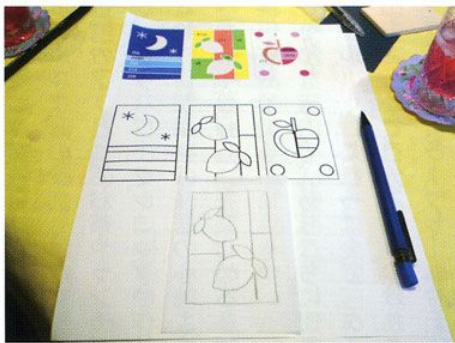
「アロマタイルづくり」のようす

7月4日と27日の2日間、カフェギャラリーショップ・waku-ta（ワクータ／前頁参照）にて、手づくりタイル教室「アロマタイルづくり」が開催された。「アロマタイル」は、素焼きの部分にアロマオイルや香水をたらし、染み込んだオイルの揮発でほのかな香りがたちあがるタイル。玄関や洗面所、車内などで好きな香りとタイルデザインを楽しむことができるタイル雑貨だ。講師は、さまざまな種類のアロマタイルを制作・販売しているタイルユニットTILE×TILE（タイル・タイル）が務めた。

タイルづくりは、油とマンガンの混合物（鉛筆）で縁取りした中に筆とスポイトを使って釉薬を流し込む、スペイン伝統の「クエルダセカ技法」で行なった。参加者は、それぞれがせわしない日常を離れ、外に蝉の声を聞きながら「ものづくり」に夢中になれるひとときを楽しんでいるようだった。

## ◆アロマタイルの制作過程

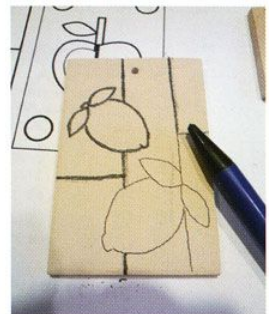
①自分の好きな図案を選び、トレーシングペーパーに書き写す。



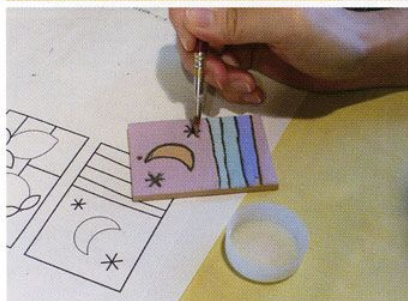
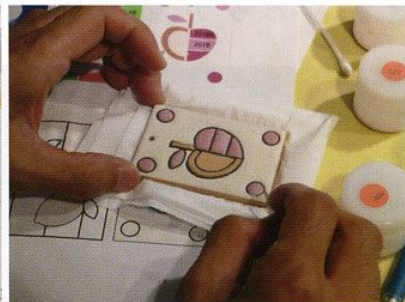
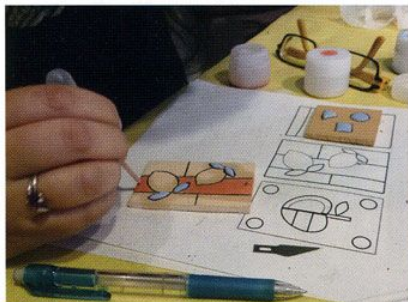
②タイルの上にカーボン紙、デザインを書き写したトレーシングペーパーを乗せ、上からなぞりタイルにデザインを転写させる。



③色をムラなくのせるためには釉薬の厚みがポイントになる。釉薬が流れ出ないように、鉛筆下書きの線はしっかりと濃く書く。



④タイルに釉薬をのせる。角や細い部分は筆で、広い面はスポイトでのせるとキレイに仕上げる。下書きの線からはみ出たり、流れ出てしまった部分は削って修正する。



⑤完成。手前は焼成後の見本。ここまで約2時間程度。



作業後のティータイムがうれしい…♥



## ●TILE×TILE（タイル・タイル）

スペインタイルアート工房卒業の kamakuratile さんと kanemex さんが2008年に立ち上げたタイルユニット。現在はアートイベントやショップでのタイル販売のほか、オーダー制作を行なっている。<http://tile-tile.jp>

お二人には本誌2010年1月号「特別企画 出会いが生んだ、新しいタイルの魅力！—TILE×TILEさんの活動から」にご登場いただいている。